

2022 雪上技術講習の報告

千葉県連教育遭難対策委員会

4月2日、谷川岳／マチガ沢出合にて雪上技術講習を行いました。

今年は、教遭委員が講師となって、昨年の外部講師が行った内容を参考に実施しました。積雪は250cm、雪質は講習開始時は気温が低く、雪は締まっていたましたが、10時ころになると気温が上がりざら雪となってきました。

参加者は、下記4会で計8名でした（教遭委員3名を含む）。

晴天の中、8時より雪上歩行訓練（つぼ足 アイゼン）・滑落停止訓練・雪上での確保（支点工作、腰がらみ、スタンディングアックスビレイ、スノーボラード）を実施して、13時に終了しました。

スタンディングアックスビレイの訓練において、登攀者が模擬滑落した際、ビレイヤーが確保しきれず転倒・滑落するというアクシデントがあり、幸い怪我はありませんでしたが、後日、教遭委員会で検証しました。

実施後のアンケートでは、

- ・当日の天候、訓練場所のコンディション、訓練内容ともに充実しており、全体的にも満足いくものだった。

- ・雪上での確保で、自己脱出から救助者の確保まで一通り実践できたことは、県連講習特有の実践訓練だったと思う。

- ・滑落停止の動画を撮っていただいたので自分の体勢が確認できました。

- ・確保支点が抜けた原因をきちんと分析して、しっかりした支点づくりへの留意点としてまとめた。

- ・教材は動画中心だったが、イメージしやすいメリットがある反面、より深く探求したり検証する際には、解説者の主観的な説明だけでは物足りない印象だった。

などの意見が寄せられました。 次回の参考とさせていただきます。

*参加会：ちば山の会、船橋勤労者山の会、山の会「岳樺クラブ」、かがりび山の会

